



start here

freeloadのお買い上げ誠にありがとうございます。ニュージーランドで生まれたfreeloadは世界各国のサイクリストに愛用されています。あなたも素晴らしい冒険ができることを信じています。



フレーム×1



デッキ×1

4 x 15mm bolts
15mmボルト×4



マウントブラケット×2



セキュリティーリリースキー×1



22mmボルトとナット×2



ステンレスストラット×6
(ロング、ミディアム、ショート)



initial setup



1

ストラットの長さを決めます。
short (80mm) フロントフォークやロードバイクやシクロクロスのリヤ用
medium (120mm) ハードテイルやフルサスペンションのMTBリヤ用
long (150mm) ローアングルのフルサスペンションのリヤ用
 ネジが切つてある側をフレーム側にしてネジで固定します。後で角度を調整するので、仮止めの状態で止めます。



2

デッキをフレームに取り付けます。
 ひっくり返してフックが開いた状態にします。閉じている場合は緑のボタンを押してフックを開きます。デッキの先端をフレームに奥まで差し込みます。
 *完全に奥まで差し込んでください。



3

デッキをロックします。
 デッキの上から小さな四角を押してロックします。押してもカチッとならない時はデッキの先端が入っていないので、もう一度2の手順を行います。デッキの取り外しはバイクに取り付けた状態でも可能です。



これで図のような形になります。続きを読んでバイクへの取り付け、取り外し方を確認してください。

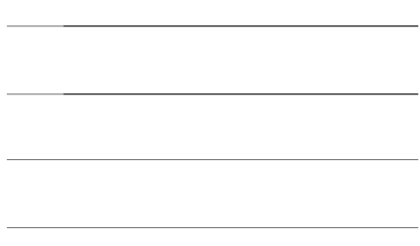
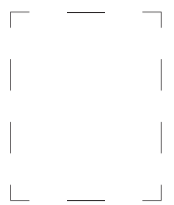
あなたの冒険を募集しています
 ライトウェイプロダクツジャパンWEBサイトではfreeloadを使ったインプレッションを募集しています
 詳しくはWEBサイトで
<http://www.riteway-jp.com>



地球を楽しくしたい
RITEWAY
 PRODUCTS JAPAN
<http://www.riteway-jp.com>

For full warranty details and further information visit our website, Or if you have any queries or problems please get in touch: team@freeload.co.nz

www.freeload.co.nz

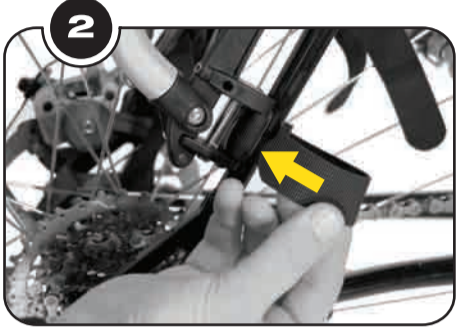


www.freeload.co.nz

fitting instructions



1
バイクに取り付ける前にブラケットが接触する場所を決めます。ブレーキマウントやケーブル受けなどを避けて、ケーブルが通っている場合はケーブルのラインを変えて取り付けます。



2
丸い先端のストラップをラチェットの割れ目に差し込みます。
四角の先端側は丸側のストラップの中に巻き込まれるようにします。写真のように丸側のストラップは折り返してバイクの内側へ一度入れてからフレームへ巻きつけます。
丸側の先端側をどの程度出すのかはフレームの太さによって異なるため、何度か試してください。



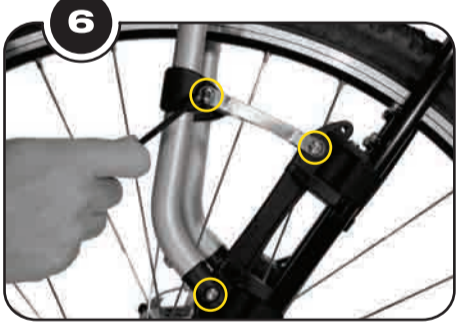
3
5mmアーレンキーのボールポイント側で仮止めをします。
フレームの中心にキャリアが来るように位置と高さを調整します。
*万が一衝撃でずれた時にタイヤに接触しないように5cm以上タイヤとのクリアランスを取ってください。
*サスペンションが沈み込んだ時に荷物とサドルなどが接触しない高さに取り付けて下さい。



4
本締めをします。
ボールポイント側で締まらなくなった状態から、2〜3クリックぐらいが適切なトルクになります。
フロントフォークの場合はもう少し締め込むことも可能です。
*締めすぎないようにしてください。フレームやブラケットを破損する場合があります。

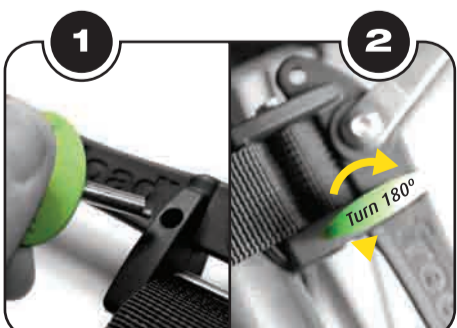


5
デッキの角度を調整します。
ストラットを取り付けたクランプをスライドさせて地面と水平になるように調整します。
動かない場合は各ボルトを緩めてください。



6
角度が決まったら、3カ所のボルトを本締めします。

removal instructions



1
取り外し方
リリースキーをラチェット隣の穴に差し込みます。
奥までキーを差し込みます。
180度回転させて内部のピンを押して解放します。小さなクリック感があります。
解放されるとストラップを引っ張ることができます。
*もしキーを忘れたり紛失した場合は細いマイナスドライバーやアーレンキーでピンを押しても解放できます。



2
ストラップを引っ張って取り外します。取りづらい場合はラチェットに巻き付いたストラップを指で回してください。
泥などで固着してしまった場合はプライヤーなどで引っ張ってください。5mmアーレンキーでラチェットを逆回転させて緩めることもできます。